


# 平成24年3月期 決算説明会

株式会社住友倉庫

平成24年5月28日



*Best Synergy & Best Solution*

# 目次

	ページ
<b>I. 平成24年3月期決算の概要</b>	
I-1. 決算の状況	1
I-2. セグメント別営業収益	2
I-3. セグメント別営業利益	3
I-4. 財政状態	4
I-5. キャッシュ・フローの状況	5
<b>II. 平成25年3月期見通し</b>	
II-1. 業績の通期見通し	6
II-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し	7
II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し	8
II-4. 主な投資案件	9
<b>III. 中期経営計画の概要</b>	
III-1. 事業環境	10
III-2. 主な経営戦略	11
III-3. 主な事業戦略	12
III-3. 主な事業戦略 海外事業の拡充	13~15
III-3. 主な事業戦略 国内物流事業の拡充	16~17
III-3. 主な事業戦略 不動産事業への積極投資	18~19
III-3. 主な事業戦略 経営基盤の一層の強化	20
III-4. 数値目標	21
III-5. 健全な財務体質	22

【補足資料】	ページ
①保管用倉庫面積・保管残高	23
②トランクルーム期末保管残高	24
③港湾運送取扱量	25
④国際輸送取扱量	26
⑤賃貸ビル面積	27

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

# I .平成24年3月期決算の概要

## I-1. 決算の状況

(単位:百万円)

決算期	平成23年3月期		平成24年3月期		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	130,377	100.0%	139,786	100.0%	9,408	7.2%
営業利益	9,610	7.4%	9,616	6.9%	5	0.1%
経常利益	10,465	8.0%	10,473	7.5%	7	0.1%
当期純利益	4,372	3.4%	6,511	4.7%	2,138	48.9%
1株当たり当期 純利益 (円)	24.51	—	36.51	—	—	—

営業収益	港湾運送や陸上運送を中心に貨物の取扱いが堅調であったことに加え、海運事業でのWSLの子会社化が寄与し、前期比72%の増収
営業利益	不動産事業収入の減収の影響を物流での貨物の取扱いが上回り、前期比0.1%の増益
経常利益	持分法による投資利益が減少したものの、受取配当金が増加し、前期比0.1%の増益
当期純利益	特別損益が改善したほか、税制改正に伴う繰延税金負債の取崩しにより法人税等調整額が減少し、前期比48.9%の大幅増益

## I-2. セグメント別営業収益

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期	平成24年3月期	増	減
1. 物流事業	120,526	124,860	4,334	3.6%
①倉庫収入	21,029	21,588	559	2.7%
②港湾運送収入	36,416	37,760	1,343	3.7%
③国際輸送収入	25,413	26,612	1,199	4.7%
④陸上運送ほか収入	37,667	38,899	1,231	3.3%
2. 海運事業	—	5,889	—	—
⑤海運事業収入	—	5,889	—	—
3. 不動産事業	10,267	9,768	▲499	▲4.9%
⑥不動産事業収入	10,267	9,768	▲499	▲4.9%
計	130,794	140,518	9,724	7.4%
セグメント間内部営業収益	▲417	▲732	▲315	▲75.6%
純営業収益	130,377	139,786	9,408	7.2%

①倉庫収入	貨物保管残高及び入出庫の取扱いとも堅調に推移し、前期比2.7%の増収
②港湾運送収入	コンテナ荷捌は中国航路の取扱いが堅調に推移し、一般荷捌も輸入貨物の取扱いが回復し、前期比3.7%の増収
③国際輸送収入	海外子会社が概ね好調であったほか、プロジェクト輸送や航空貨物の取扱いも堅調に推移し、前期比4.7%の増収
④陸上運送ほか収入	連結子会社におけるトラック輸送の取扱いが増加したことなどにより、前期比3.3%の増収
⑤海運事業収入	第4四半期から連結対象に加え、純増
⑥不動産事業収入	前年度に一部の賃貸物件においてテナントの退去があったことから、前期比4.9%の減収

### I-3. セグメント別営業利益

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期	平成24年3月期	増 減	
			増	減
1. 物流事業	7,314	8,011	697	9.5%
2. 海運事業	-	▲131	-	-
3. 不動産事業	5,900	5,456	▲443	▲7.5%
計	13,214	13,336	122	0.9%
調整額	▲3,603	▲3,719	▲116	▲3.2%
純営業利益	9,610	9,616	5	0.1%

物流事業	それぞれの分野での増収効果に加え、減価償却費等も減少したことから、前期比9.5%の増益
海運事業	海上運賃の下落及び船舶燃料油価格の高騰に加え、のれん償却額の計上もあり、営業損失を計上
不動産事業	前年度に一部の賃貸物件におけるテナントの退去があったことが影響し、前期比7.5%の減益

## I-4. 財政状態

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期末	平成24年3月期末	増 減 額
総 資 産	228,377	245,092	16,714
負 債	115,436	124,805	9,369
純 資 産	112,941	120,287	7,345
(うち少数株主持分)	(4,511)	(6,016)	1,504
自己資本比率	47.4%	46.6%	-
1株当たり純資産	607.58円	640.31円	32.73円

総 資 産	「現金及び預金」の増加、「船舶」等取得に伴う有形固定資産の増加、WSLの子会社化に伴う「のれん」の計上等により、前期末比73%の増加
負 債	船舶取得に伴う借入金の増加等により、前期末比81%の増加
純 資 産	「利益剰余金」の増加や税制改正に伴う繰延税金負債の取崩しによる「その他有価証券評価差額金」の増加等により、前期末比65%の増加

## I-5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期	平成24年3月期	増 減 額
営業活動によるCF	10,075	11,495	1,420
投資活動によるCF	▲1,782	▲11,444	▲9,662
財務活動によるCF	▲3,227	7,539	10,767
現金及び現金同等物四半期末残高	15,249	22,703	7,454

営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益や減価償却による資金の留保等により、114億9千5百万円の増加
投資活動によるCF	固定資産の取得による支出やWSLの子会社化に伴う子会社株式の取得による支出等により114億4千4百万円の減少
財務活動によるCF	長期借入による収入等により、75億3千9百万円の増加



## Ⅱ.平成25年3月期見通し

## Ⅱ-1. 業績の通期見通し

(単位:百万円)

決算期	平成24年3月期実績		平成25年3月期見通し		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	139,786	100.0%	157,000	100.0%	17,214	12.3%
営業利益	9,616	6.9%	10,300	6.6%	684	7.1%
経常利益	10,473	7.5%	11,200	7.1%	727	6.9%
当期純利益	6,511	4.7%	6,600	4.2%	89	1.4%
1株当たり当期純利益 (円)	36.51	-	37.01	-	-	-

営業収益	WSLの通期寄与や国際輸送及び陸上運送等において堅調な取扱いが見込まれると予想し、増収
営業利益	不動産事業では賃料の下落が見込まれるものの、海運事業でのWSLの通期寄与と物流事業での貨物の取扱いが堅調に推移すると予想し、増益

## Ⅱ-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し

### 営業収益

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 見通し	増	減
1. 物流事業	124,860	125,200	340	0.3%
2. 海運事業	5,889	23,400	17,511	297.4%
3. 不動産事業	9,768	9,600	▲168	▲1.7%
計	140,518	158,200	17,682	12.6%
セグメント間内部営業収益	▲732	▲1,200	▲468	63.9%
純営業収益	139,786	157,000	17,214	12.3%

### 営業利益

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 見通し	増	減
1. 物流事業	8,011	8,200	189	2.4%
2. 海運事業	▲131	600	731	—
3. 不動産事業	5,456	5,300	▲156	▲2.9%
計	13,336	14,100	764	5.7%
調整額	▲3,719	▲3,800	▲81	2.2%
純営業利益	9,616	10,300	684	7.1%

## Ⅱ-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し

### 設備投資額

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 見通し	増 減
1. 物流事業	5,196	3,400	▲1,796
2. 海運事業	4,332	4,600	268
3. 不動産事業	1,753	3,700	1,947
計	11,281	11,700	419
4. 全社	692	800	108
連 結	11,975	12,500	525

### 減価償却費

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 見通し	増 減
1. 物流事業	3,783	3,950	167 4.4%
2. 海運事業	5	400	395 7,900%
3. 不動産事業	1,782	1,850	68 3.8%
計	5,570	6,200	630 11.3%
4. 全社	695	800	105 15.1%
連 結	6,267	7,000	733 11.7%

## Ⅱ-4. 主な投資案件

区 分		平成24年3月期	平成25年3月期 (通期見通し)
物 流	住友倉儲（中国）有限公司第二期倉庫建設工事（上海） 工 期：平成23年11月～平成24年11月	—	6.9億円
	羽生アーカイブセンター建設工事（埼玉県羽生市） 工 期：平成23年2月～平成24年1月	33.7億円	—
海 運	ガントリークレーン付オープンハッチ型多目的船 2隻購入	42.5億円	—
	ガントリークレーン付オープンハッチ型多目的船 2隻購入	—	45.4億円
不 動 産	東京住友ツインビル中期保全工事（東京都中央区）	11.5億円	12.7億円
	淀屋橋オフィスビル（大阪市中央区） 工 期：平成24年4月～平成25年12月	2.0億円	16.3億円



## Ⅲ .中期経営計画の概要

### Ⅲ -1. 事業環境





## Ⅲ-2. 主な経営戦略

### ソリューション志向の徹底

- 企業の生産・販売ともグローバル化する中、ソリューション志向を徹底し、ワールドワイドに展開する当社グループの物流拠点と多様なサービスを効率的に組み合わせ、お客様のサプライチェーン最適化に貢献する

### 営業地域の拡大

- 先進国、新興国を問わず、成長が見込まれる海外市場での営業拠点の展開と拡充に取り組み、事業の拡大を図る

### 経営基盤の国際化

- 海外での事業規模の拡大を支えるため、人事・CSR・リスクマネジメント・財務経理等のグローバルな管理機能の強化を図る

## Ⅲ-3. 主な事業戦略

### 海外事業の拡充

- 新興国の著しい経済成長に伴い、物流のグローバル化が進展する中、海外拠点を拡充し、最適なロジスティクスサービスの提供を図り、計画最終年度の海外売上高は実績比3倍増を目指す

### 国内物流事業の拡充

- 拠点の拡充と国内子会社の総合力を活用し、在庫管理・流通加工・配送・情報システム等の機能を向上させ、取扱いの拡大を図る

### 不動産事業への積極投資

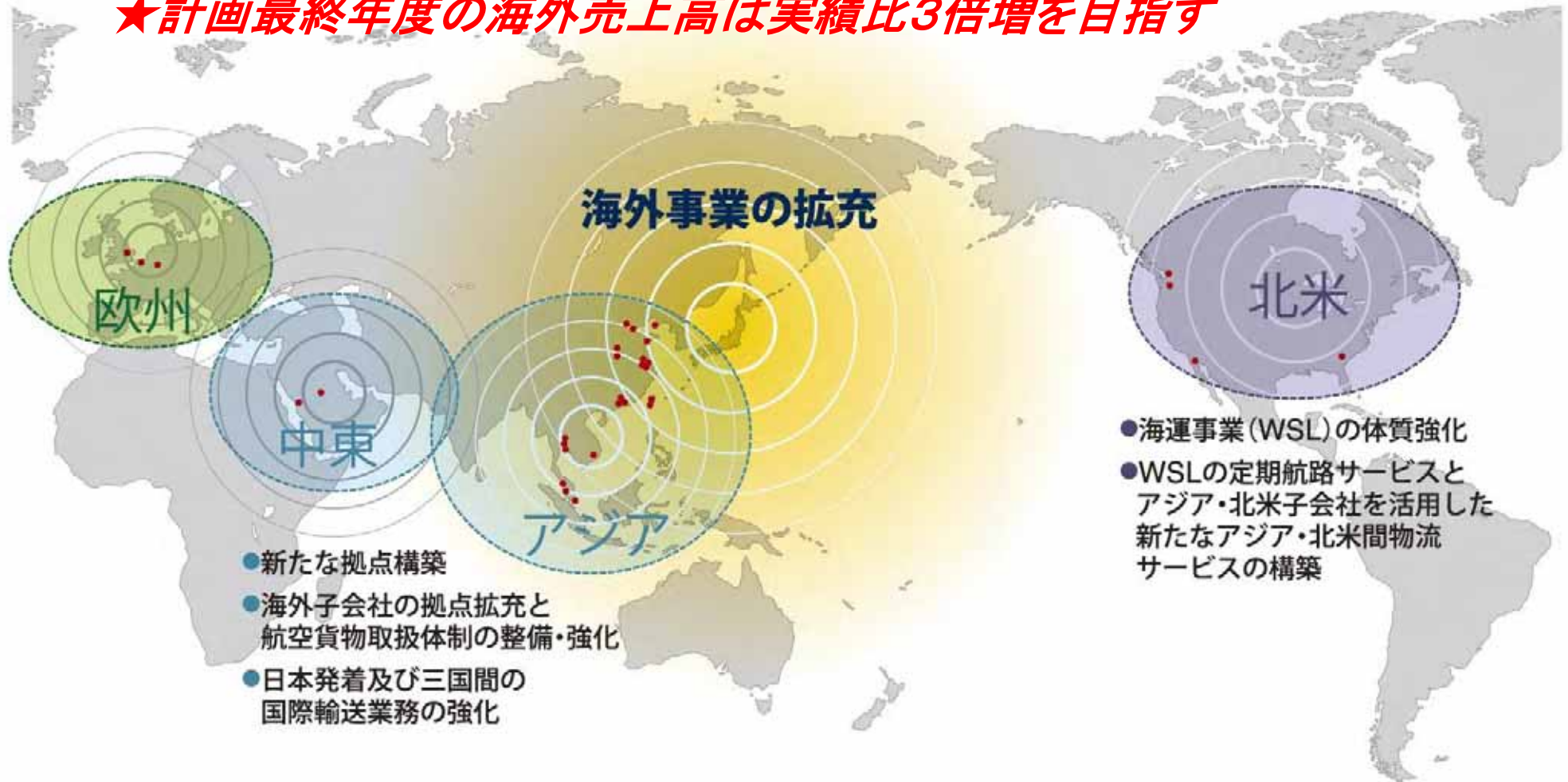
- 保有資産の最適活用・新規物件の取得により、首都圏を中心に賃貸事業を拡充する

### 経営基盤の一層の強化

- 事業領域の拡大に対応するため、グループ経営の推進、グローバル人材の育成及び組織力の向上等に取り組むほか、戦略的な資本・業務提携等により経営基盤の一層の強化を図る

# 海外事業の拡充

★計画最終年度の海外売上高は実績比3倍増を目指す



- 新たな拠点構築
- 海外子会社の拠点拡充と航空貨物取扱体制の整備・強化
- 日本発着及び三国間の国際輸送業務の強化

- 海運事業 (WSL) の体質強化
- WSLの定期航路サービスとアジア・北米子会社を活用した新たなアジア・北米間物流サービスの構築

● 当社グループの主な拠点

## (1) 新たな拠点構築

当社現地法人所在国

### (一例) ベトナムにおける新会社設立 新会社の概要

- (1) 会社名：Sumiso (Vietnam) Co., Ltd.
- (2) 所在地：ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市
- (3) 資本金：US\$100,000 (当社51%出資)
- (4) 設立日：平成24年4月9日
- (5) 事業内容：フォワーディング、倉庫保管及び関連する各種ロジスティクスサービス
- (6) 営業開始：平成24年5月

## (2) ウエストウッド SHIPPINGラインズを活用した新たなアジア・北米間 物流サービスを構築し、相乗効果を創出



WestBound 1A



WestBound 2



WestBound 1B



EastBound

エバレット

## 国内物流事業の拡充

拠点の拡充と国内子会社の総合力を活用し、在庫管理・流通加工・配送・情報システム等の機能を向上させ、取扱いの拡大を図る

- 経済環境の変化に伴うSCM再構築需要を見定めた拠点の拡充
- 物流アウトソーシング需要に対応した配送センター業務への取組み推進

## アーカイブ事業の拡充

羽生アーカイブセンター第2センターが稼働(平成24年1月)

拡大する需要に対応した首都圏におけるアーカイブ専用倉庫。高付加価値のアーカイブソリューションをお客様に提供し、国内物流における倉庫事業の取扱いを拡大



所在地	埼玉県羽生市
敷地面積	34,014㎡(10,289坪)
構造	免震構造 鉄筋コンクリート造
建築面積	6,395㎡(1,935坪)
延床面積	24,380㎡(7,375坪)
主要設備	非常用自家発電設備、窒素ガス消火設備、 生体(指透過)認証、ICカード認証、監視カメラ、 赤外線センサー



## 不動産事業への積極投資

保有資産の最適活用・新規物件の取得により、  
首都圏を中心に賃貸事業を拡充する

- 所有土地での新規賃貸施設建設
  - 戸田再開発計画の推進
    - JR埼京線・戸田駅前
    - 住宅・商業複合ビル建設計画
- 首都圏の事業基盤強化



## 所有土地での新規賃貸施設建設

### 淀屋橋オフィスビル着工(平成24年4月)

免震構造など防災・省エネ機能をより充実させ、お客様のニーズに合わせた施設の提供を通して、不動産事業の安定成長を実現

既存の賃貸ビルについてもテナントの確保に取組み、収益の維持・確保に努める

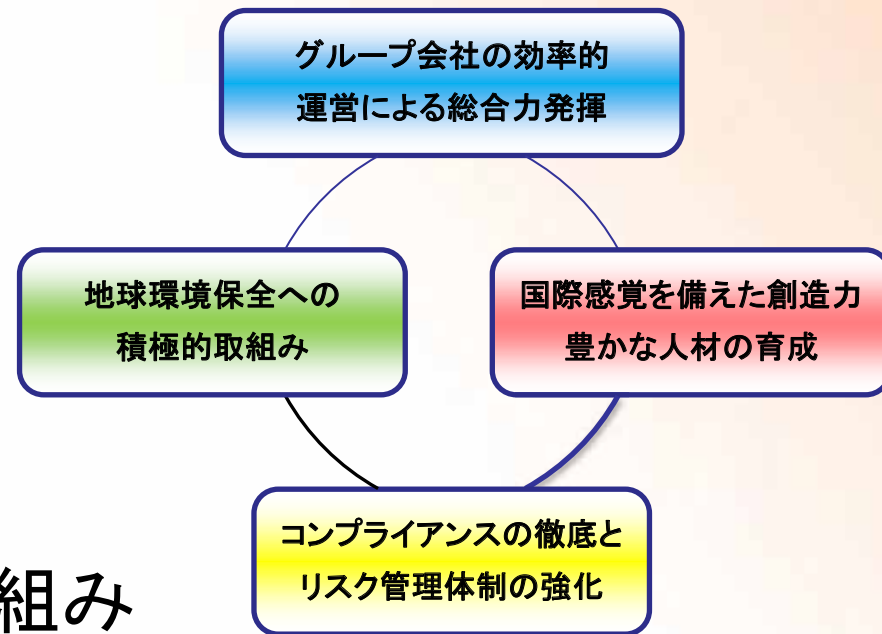


名称	淀屋橋ミッドキューブ
所在地	大阪府中央区北浜4丁目
建物概要	
構造	鉄骨造地上10階 地下1階
延床面積	12,000㎡
用途	事務所、店舗
防災機能	免震構造、非常用発電機(72時間運転対応)
省エネ機能	LED照明、エネルギー管理システム、外気取入れ時の地熱利用、Low-Eガラス、井戸水利用
竣工予定	平成25年12月

## 経営基盤の一層の強化

事業領域の拡大に対応するため、グループ経営の推進、グローバル人材の育成及び組織力の向上等に取り組むほか、戦略的な資本・業務提携等により経営基盤の一層の強化を図る

- グループ会社の効率的運営による総合力発揮
- 国際感覚を備えた創造力豊かな人材の育成
- コンプライアンスの徹底とリスク管理体制の強化
- 地球環境保全への積極的取組み



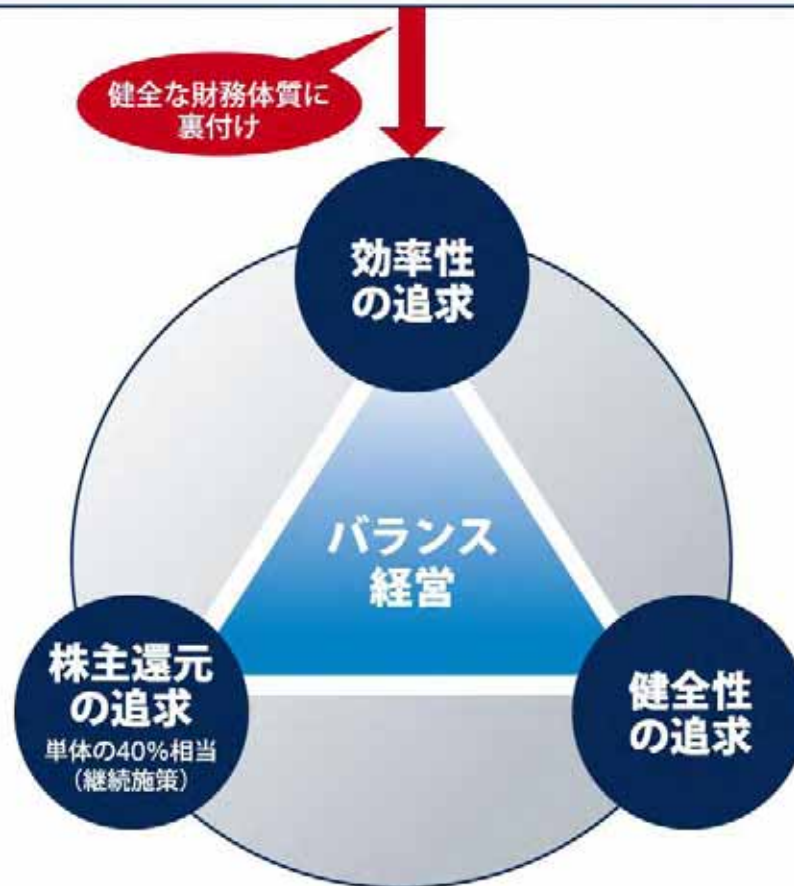
### Ⅲ-4. 数値目標

項目	2011(H23)年度 実績	2014(H26)年度 計画3年度目	2016(H28)年度 計画最終年度
連結営業収益(億円)	1,397	1,750	1,900
連結営業利益(億円)	96	106	130
連結設備投資額 (計画期間内総額) (億円)	物流		250
	海運		50
	不動産		360
	システム・地球環境保全等		40
	合計		700
株主還元	<p>当社単体の当期純利益の40%相当額をめぐり利益水準にかかわらず年間配当金として1株につき10円を維持することを目標とする</p>		

## Ⅲ-5. 健全な財務体質

### 成長戦略を実現する設備投資700億円

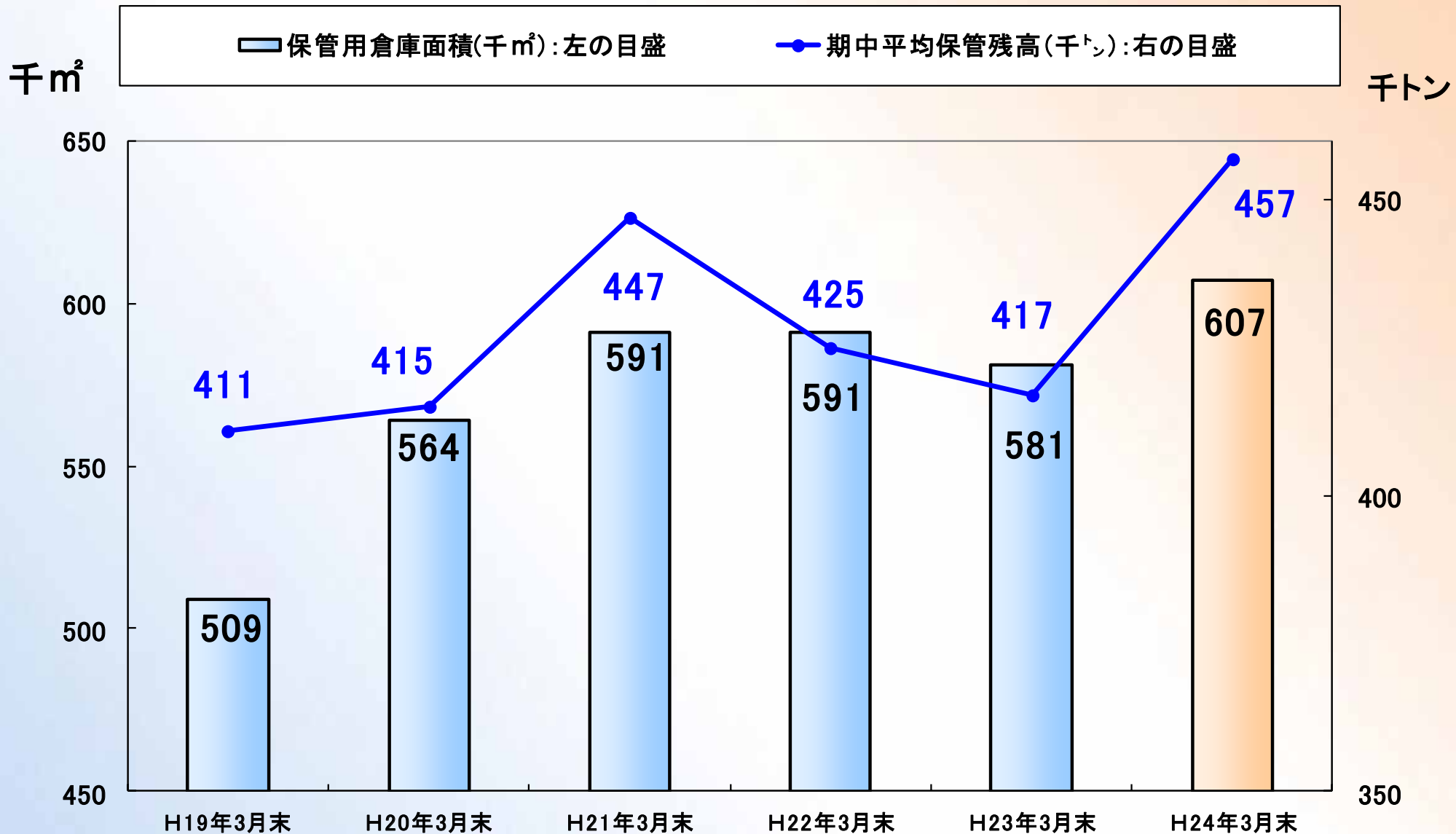
(物流250億円、海運50億円、不動産360億円、情報システム・地球環境保全等40億円)



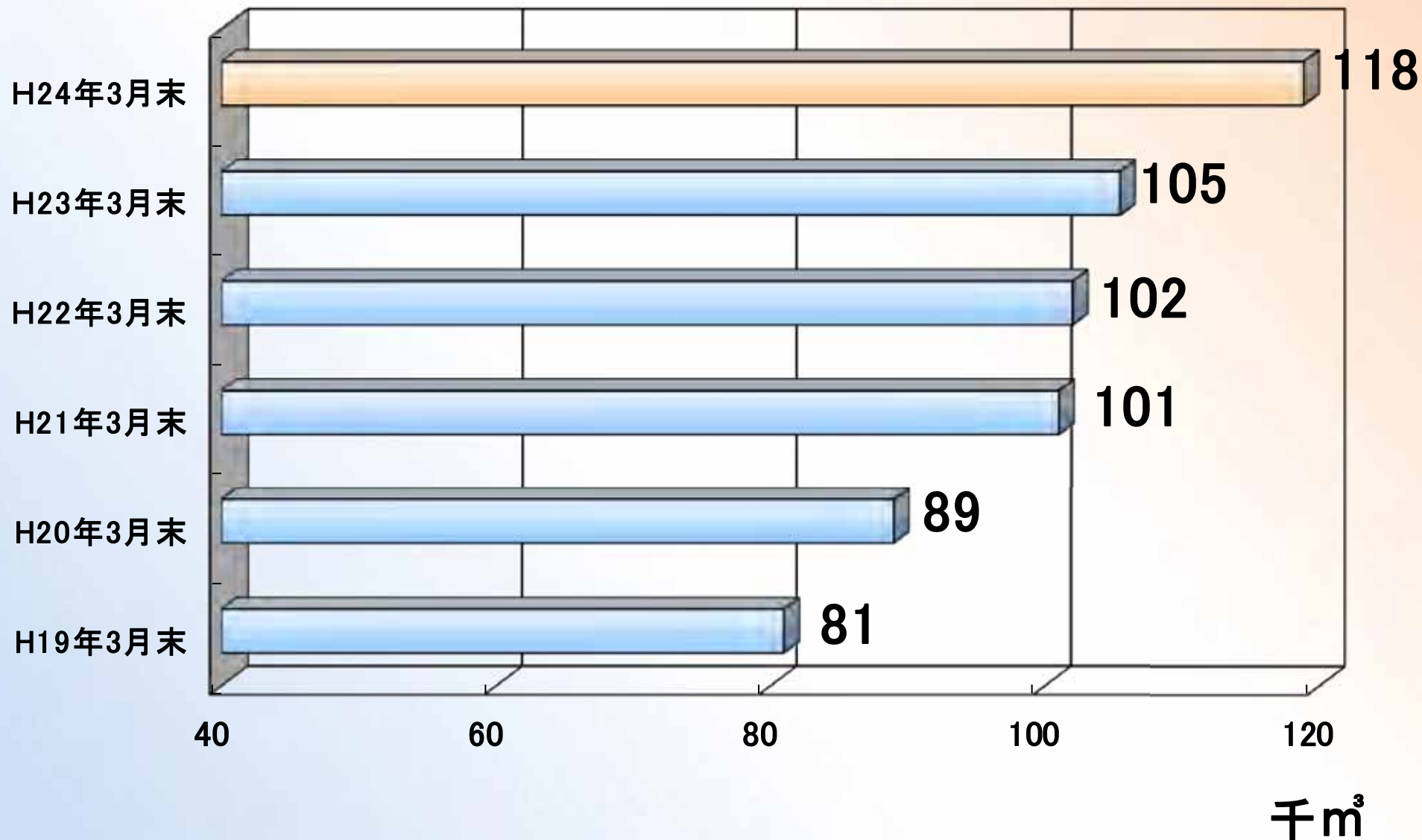
その他、株式需給や株価水準を考慮した自己株式取得で一層の株主還元を図るとともに、キャッシュフロー経営を追求し、安全性を増強する

# 補足資料

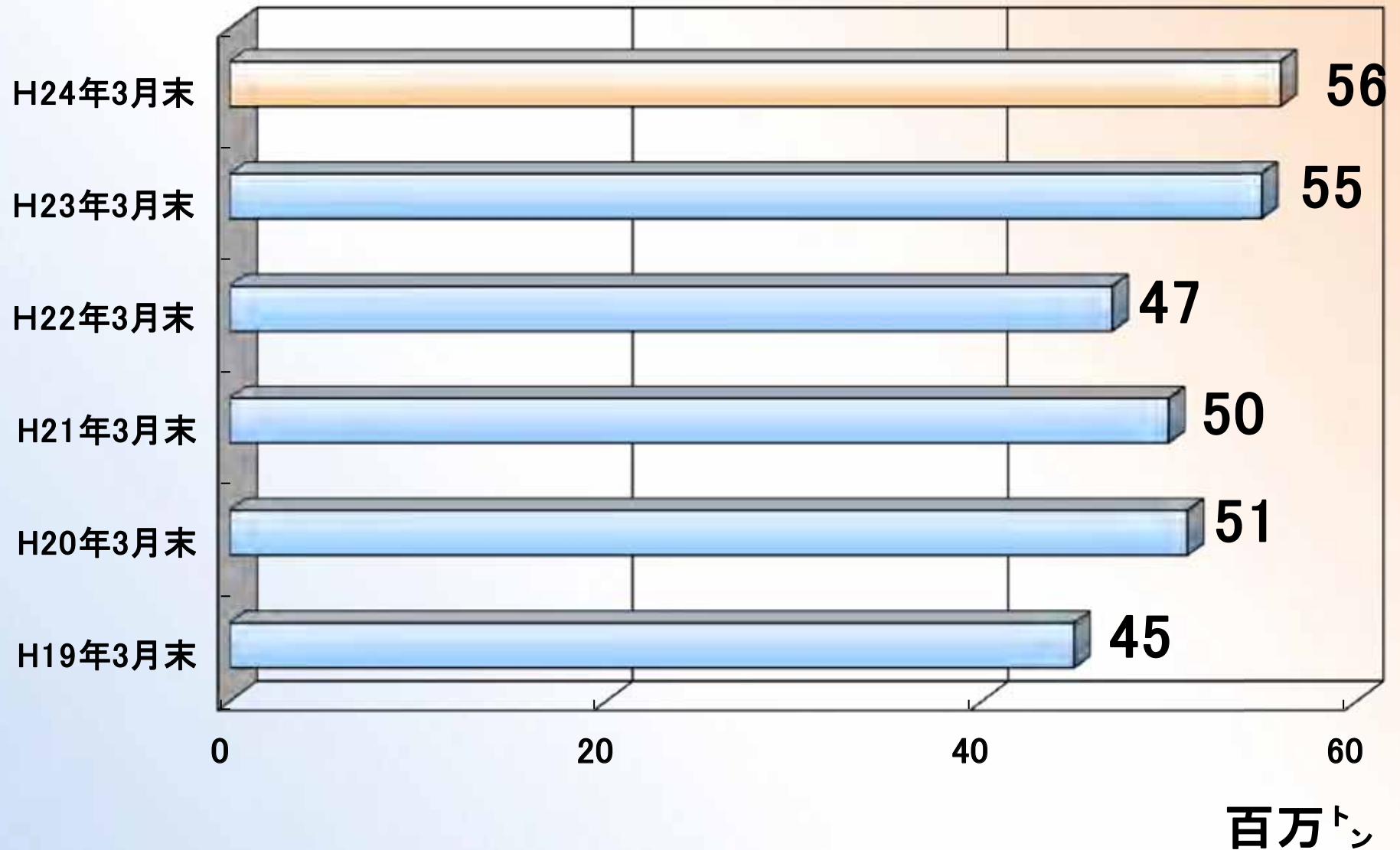
# ① 保管用倉庫面積・保管残高



## ② トランクルーム期末保管残高

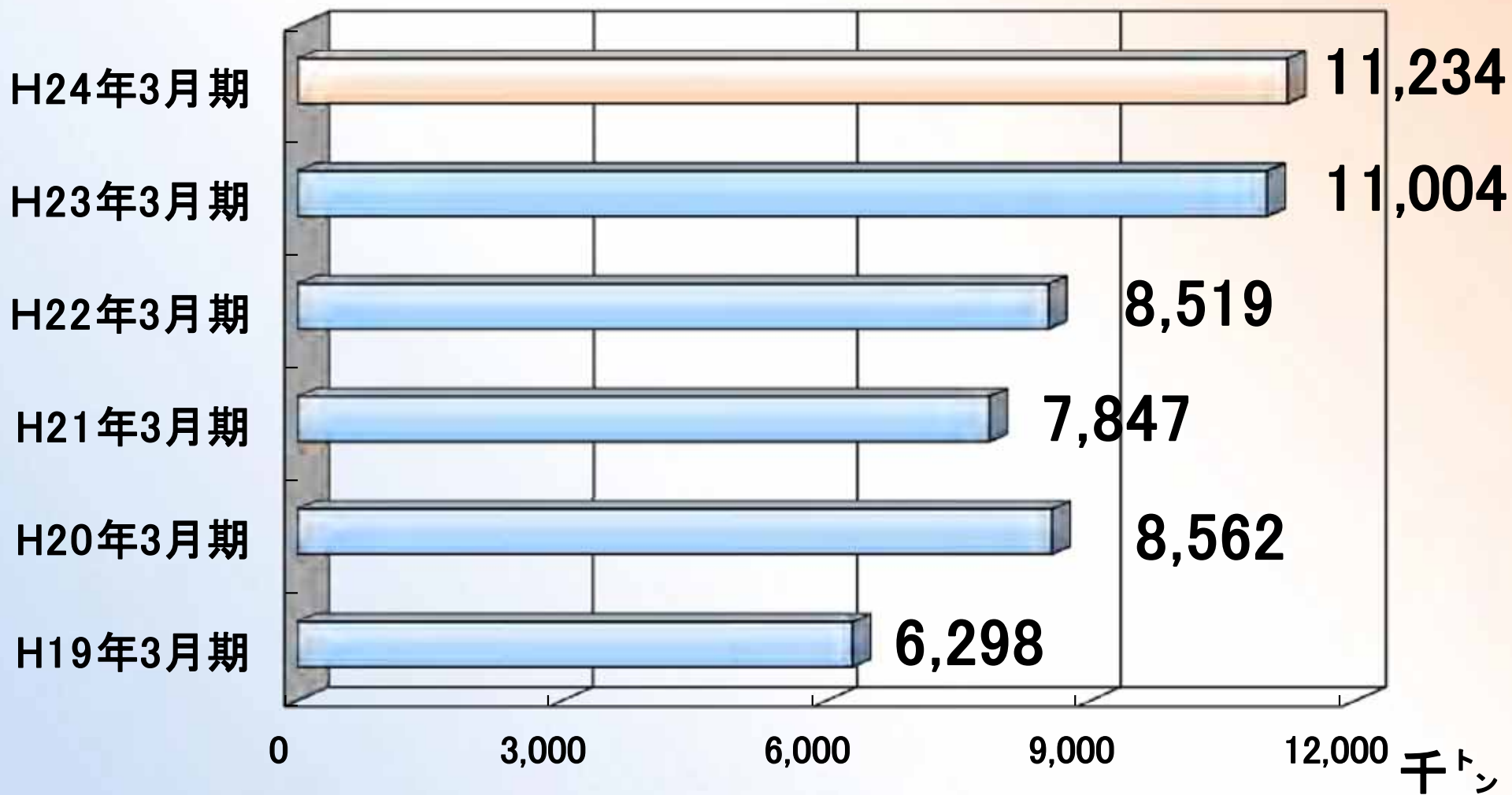


### ③ 港湾運送取扱量

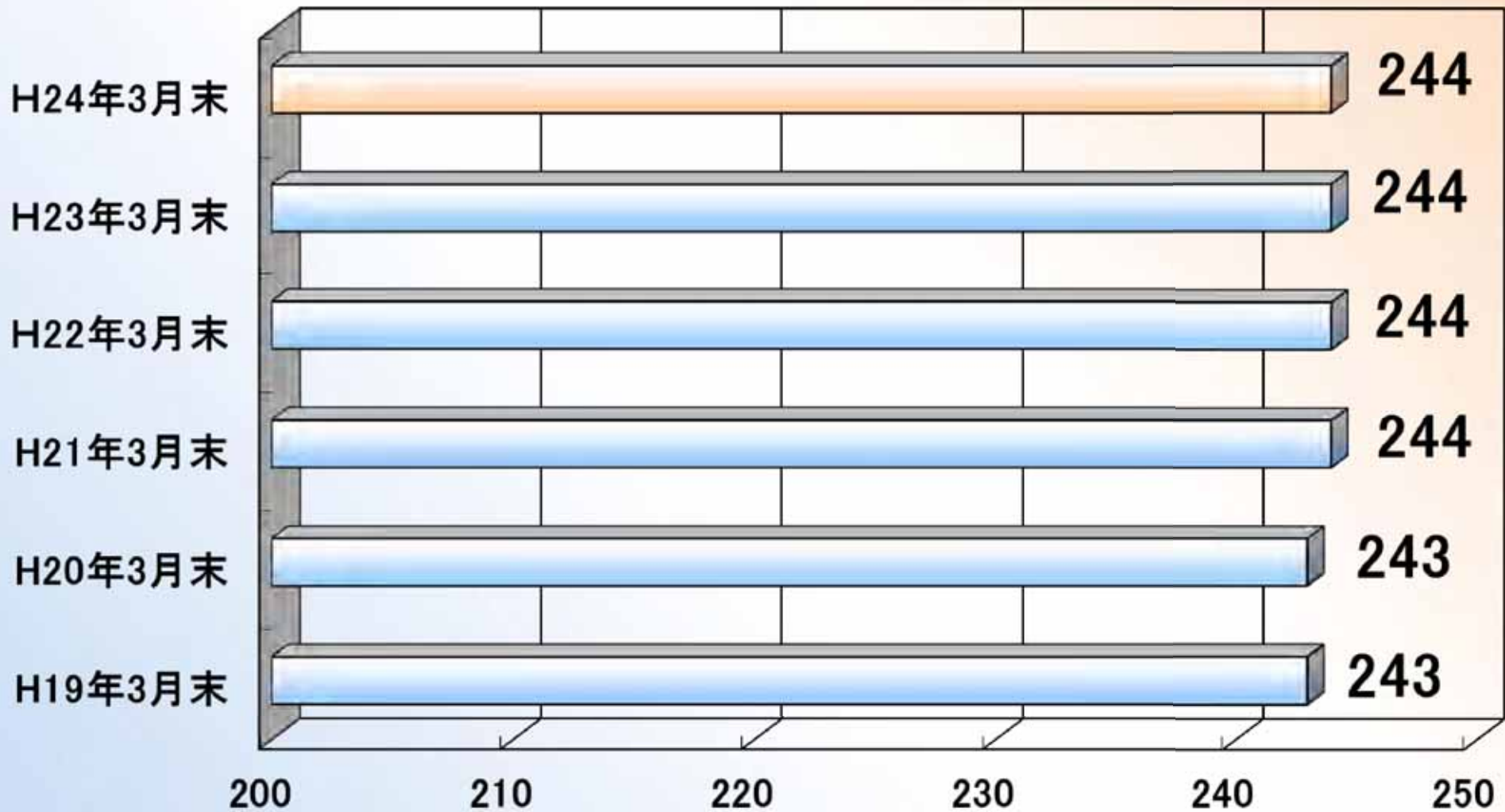




#### ④ 国際輸送取扱量



### ⑤ 賃貸ビル面積



千m<sup>2</sup>